



リソース・レガシー基金によるサステナブル・フィッシャリー基金

サステナブル・フィッシャリー基金とは？

カリフォルニア州に拠点を置く非営利団体リソース・レガシー基金(RLF)は、2002年にサステナブル・フィッシャリー基金(SFF)を設立し、生態学的に持続可能な漁法を世界中に広めています。SFFは、MSC(海洋管理協議会)の認証プロセスを通じて、小規模漁業が環境に与える影響を軽減するための取り組みを支援することから始めました。その後、SFFの取り組みは、漁業改善プロジェクト(FIP)やフェアトレード認証など、さらなる持続可能性の道筋を支援するまでに拡大しました。

2022年、漁業の持続可能性に社会的責任を組み込むことを目標に、RLFはSFFの助成金活動の新章を立ち上げ、世界中のFIPがFisheryProgressの[人権と社会的責任のポリシー](#)(HRSRP)を実施するのを支援します。

SFFは、以下のようなプロジェクトの提案を募集しています。

- [コンサベーション・アライアンスのFIPガイドラインと定義に合致し](#)、HRSRPの必須コンポーネントと任意コンポーネントを実施することを明示した、新しいFIPの設計と立ち上げ。
- [FisheryProgress](#)に登録されている既存のFIPについては、HRSRPの必須コンポーネントや任意コンポーネントを、計画中の他の漁業改善活動とともに完了させるプロジェクト。

以下のような追加的なプロジェクトが HRSRP と並行して実施される場合、助成金の支援対象となります。

- MSC 予備審査
- 戦略的重要性のある MSC の本審査と再審査(限定的)。
- フェアトレードの審査
- その他、海洋保全を推進し、社会的責任や人権に取り組むステークホルダーの参加やキャパシティビルディングなど、SFF 全体のガイドラインに沿った漁業改善活動。

申請資格は？

漁業、漁業従事者、または水産物の団体、漁業管理機関、研究機関、非営利団体、および FIP を支援し持続可能性認証を推進するために契約した民間コンサルティング会社。その他の申請者(個人事業者を含む)については、個別に検討することができます。

応募方法

助成金希望者は、「SFF の戦略および助成金交付のガイドライン」をご覧ください。英語、スペイン語、インドネシア語、日本語、中国語で[オンライン](#)で入手できます。SFF は、2022 年、2023 年、2024 年に、年 2 回、助成金の申請を受け付け、適格なプロジェクトに対して助成金を交付します。助成金の申請には、[申請ワークシート](#)をダウンロードし、英語で記入する必要があります。ワークシートおよび財務と組織の健全性を示す必要書類を、RLF シニア・プログラム・コーディネーターの Rebecca Valdez (rvaldez@resourceslegacyfund.org) に E メールで送付してください。

タイムライン

2022年、SFFは2つの時期に応募を受け付けます。

第1期: 4月1日～5月8日

第2期: 9月1日～10月1日

すべての申請書はRLFのスタッフによって審査され、RLFの外部パートナーによって追加審査が行われる場合もあります。最初の審査後、RLFのスタッフが競争力の高い申請者に直接連絡し、補助金支給の検討に進む前に、提案されたプロジェクトの追加情報や修正をお願いすることがあります。

詳細やご質問は、Resources Legacy Fund の Rebecca Valdez (rvaldez@resourceslegacyfund.org) または Scaling Blue の Jesse Marsh (jmarsh@scalingblue.com) までご連絡ください